みどりの東北

Midori no Tohoku

No.263
令和8年 2026. 2
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office

CONTENTS

特集コーナー …… 2
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 3
地域発NEWS …… 4～7
国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 8～9
地域のこの人 …… 10
イベント情報 …… 11

森吉山の樹氷（秋田県北秋田市）
［提供：米代東部森林管理署上小阿仁支署］

今月のTopics

●庄内海岸林を鈴木農林水産大臣が視察

12月13日、鈴木農林水産大臣が山形県の庄内海岸林を視察されました。現地では、マツ枯れの被害が深刻化している状況を確認するとともに、地元関係者との意見交換を行い、早急な防除対策の実施や再生に向けた取り組みの強化、周辺への二次被害防止などが課題となっているとの意見がだされ、大臣からは、「国・自治体・地元が連携し、再生を進めていく必要がある」との考えが示されました。

●令和7年度　国有林モニター会議

1月14日、当局大会議室で「令和7年度　国有林モニター会議」をモニター22名ご出席のもと開催しました。本会議は国有林野の管理経営に国民の声を反映するため、モニターよりご意見・ご要望をいただく場として開催しています。

会議では「市民へ向けた国有林の情報発信」をテーマとしたグループディスカッションを行い、情報発信の改善に向けた活発な議論が交わされ、その後、2年間のモニター活動のご感想及び国有林野事業へ対するご意見をいただきました。

特集コーナー

国有林野で今起こっている最新情報をお伝えしています。

ニホンジカ対策における大型排水管を利用した残渣処理設備の取組について

保全課

当局管内ではニホンジカの増加及び生息域の拡大で林業被害が増えてきていますが、捕獲した後の個体処理が大きな課題になってきていました。
岩手県内の国有林にも大型排水管を利用した残渣処理設備が設置されたことから取組等を紹介します。

近年、東北森林管理局（以下「東北局」という。）管内ではニホンジカの個体数増加及び生息域の拡大等により、植栽木の食害や下層植生の衰退発生による被害が深刻化しています。その為、地域の方々と連携しながら捕獲事業やワナ貸出支援等の取組を行っています。

一方、山中等で捕獲しジビエ等で利用されない個体については、捕獲者が搬出して焼却等の処理施設に持ち込むか、現地等で穴を掘り処理する必要があり、捕獲者の負担が大きいこと、またクマによる掘り返し・捕食の危険性があることなど、処理方法が課題となっていました。

このため岩手県遠野市では捕獲個体の新たな処理方法として、大型排水管を利用した残渣処理設備の設置を検討し、設置予定５基のうち１基について国有林内への設置要望がありました。

東北局では遠野市、遠野猟友会と協議を行い、遠野支署長、遠野市長、遠野猟友会長の三者で協定している「ニホンジカ等被害対策協定書」にくくりわな及び囲いわなの貸与の他に、大型排水管設置に関する事項を追加する変更協定を締結したうえで、国有林内に設置しました。残渣処理設備は、コルゲートパイプ（径1.5m、長さ3.0mの大型排水管）を地下2.0mに縦置きで埋設し、捕獲個体と発酵促進剤（ぼかし剤）を投入し、自然分解により減容化しています。国有林に設置した設備での結果は、71頭投入（令和７年９月現在）し、かさ高は1.3mとなっています。

このような取組については多くの地方公共団体等が注目していることから、東北局では令和７年11月には、協定締結の地方公共団体、猟友会及び森林管理署による勉強会を遠野市で開催しました。遠野市からは設置に至る経緯、経費や調整課題について、遠野猟友会からは投入等にあたっての苦労や注意点などについて報告いただき、その後は参加者からの質問があり、活発な議論になりました。

大型排水管を利用した残渣処理設備の使用については、捕獲個体処理に伴う経費、労力や身体的苦痛等も軽減に効果があることから、今後も地方公共団体からの要望があれば協定締結による導入支援を進めていきたいと考えています。

国有林へ設置した設備への捕獲個体の投入

残渣処理設備への捕獲個体の投入後の状況

勉強会にて（減容化のためのぼかし肥料の投入）

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

ICT技術による林道施設災害調査の検証

近年は豪雨による災害が増加しており、東北森林管理局管内においても、林道施設への被害が連続して発生しています。

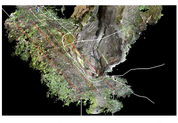
林道は森林を適正に管理するために木材輸送や森林整備などの事業に使用されることから、早期に復旧する必要があり、対応できる予算や人員も限られているなかで、被害状況や復旧方法を調査・設計しなければなりません。

このような中、ICT技術の発展は目覚ましく、スマートフォンを使用し誰でも簡単に３次元データを取得することが可能となっていることから、新たに器材などを購入せずに小規模な災害の被害調査やその後の設計に対応できるような調査方法の検証に取り組んでいます。

従来の測量調査では、トランシットなど専門の測量機器を使用した測量を行い、その成果を基に設計図面を作成していましたが、測量には多くの時間や人手と専門的な知識や技術が必要でした。今回、スマートフォンのLiDARスキャンを使用することで測量に慣れていなくても短時間で計測ができ、また、取得したデータにより３Ｄモデル（三次元点群）を作成し、簡易な測量を行い高さを補正することで、設計時には現場状況をデジタル上で十分な精度で確認できることから、多様な設計ができたり再度現場に行かなくても良いなど効率化も期待できます。

今後はLiDARスキャンで測量した箇所の工事の実施、マニュアルの整備などさらなる省力化に取り組みます。

現地調査の様子



取得したデータによる3Dモデル

ご関心のある方は、東北森林管理局森林整備課（TEL：019-688-4518）へお問合せ下さい。

林木育種事業に関する技術指導等を行っています

林木育種センター東北育種場では、東北育種基本区の各県（青森・岩手・宮城・秋田・山形・新潟）からのご要望に応えて、県の職員等の皆様に採種園の造成管理方法やクローン増殖の方法等について技術指導を行っています。また、国有林の職員の皆様に次代検定林の調査方法について指導を行っています。このほか、高校生、大学生等に対しても実習等の技術支援を行っています。

令和７年度は三陸北部森林管理署、三陸北部森林管理署久慈支署、三陸中部森林管理署職員に対し、林木育種事業の取組について説明及び意見交換を行ったほか、山形県立村山産業高等学校や岩手大学からの要望を受けてクローン増殖の方法について実習を行いました。

林木育種センター東北育種場では林木育種事業に関係する皆様からのご要望にお応えするため、今後も引き続き各種の技術支援に取り組んで参ります。

森林管理署職員への事業概要説明

さし木の実技指導

ご関心のある方は、森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場（TEL：019-688-4518）へお問合せ下さい。

地域発NEWS
（治山・林道事業の取組）

各（支）署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

林道の自署設計を通じた技術力の継承

岩手

岩手南部森林管理署

国有林内で整備している林道は、木材搬出や森林の育成・保全、地域振興などに活用され、地域の産業や社会を支える重要な基盤になっています。

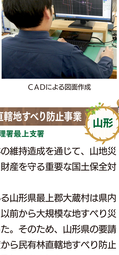
これらの林道については、日頃から点検や維持管理を行っていますが、老朽化し壊れやすくなった路線も多く、また、近年の多発する豪雨により路体の流出や排水施設の破損などが発生し、早急な復旧工事が必要となる事態も頻発しています。

復旧工事の実施に当たっては、通常、事前にその工事の詳細を決めるための調査設計業務を設計会社に発注するケースが殆どですが、発注者側としても、調査設計の手順や基本的考え方を熟知しておく必要があります。

若手職員による横断測量の実施

このため、今年発生した排水設備が破損した林道の復旧に当たり、当署の担当職員・若手職員が調査設計の基本的な知識、測量機器操作、設計技術等の習得を図ることを目的とし、現地での各種測量や、ＣＡＤでの図面作成、将来的な豪雨にも対応可能な工法や構造物の検討等について、ベテラン職員の指導のもと職員自らで行いました。

今後も、このような実習等を通じて調査設計に関する知識と技術力を継承し、適切かつ迅速な森林土木工事の実施に取り組んでまいります。


ＣＡＤによる図面作成

銅山川地区民有林直轄地すべり防止事業

山形

山形森林管理署最上支署

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を守る重要な国土保全対策の一つです。

最上支署管内にある山形県最上郡大蔵村は県内屈指の豪雪地帯で、以前から大規模な地すべり災害が発生していました。そのため、山形県の要請を受けて平成４年度から民有林直轄地すべり防止事業として事業に着手してきました。

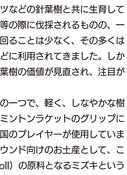
地すべりが発生する主な原因は地下水です。銅山川地区は、豪雪により地下水が豊富で、火山堆積物により地層が脆弱なことから地すべりが発生しやすい地域です。

地すべりを安定化するためには地下水を排除する必要があるため、平成８年度から全長5,959ｍにおよぶ排水トンネル工に着手しました。

この排水トンネル工は、地上から銅山川地区の地下160ｍ付近を貫通するように掘られています。そこへ地上からトンネルに向かって垂直に穴を掘り、穴の中に設置されたフィルター付きパイプの隙間から水が浸透する仕組みで地下水を集め、銅山川に排出されています。

このほかにも、日本一深い井戸（109ｍ）や急斜面の崩壊を防止する法枠工など様々な対策を実施しています。

来年度には概ね完成となり、山形県へ移管されますが、引き続き地域の皆さんが安全で安心な暮らしを実現できるよう取り組んでいきます。


約６キロに及ぶ排水トンネル工坑口

地域発NEWS
（森林整備等の取組）

各（支）署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

今、注目を集める広葉樹の活用について

岩手

三陸北部森林管理署

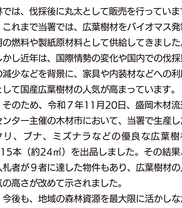
当署では、森林の多面的機能の維持増進を図るため、間伐等の森林整備を計画的に実施しています。スギやカラマツなどの針葉樹と共に生育している広葉樹も間伐等の際に伐採されるものの、一般製材として出回ることは少なく、その多くは製紙用のチップなどに利用されてきました。しかし、近年は国産広葉樹の価値が見直され、注目が集まっています。

サワグルミもその一つで、軽く、しなやかな樹種の特性からバドミントンラケットのグリップに利用され、世界各国のプレイヤーが使用しています。また、インバウンド向けのお土産として、こけし（Kokeshi doll）の原料となるミズキという樹種も需要が高まっています。

このため、森林整備事業において広葉樹材が出材されると予定となった際は、委託販売契約書からアドバイスを受けたり、管内の林業事業体等を対象とした現地検討会を開催するなどして、採材※の工夫に努めています。

今後も、地域の需要に応じて木材を供給するため、ニーズや流通状況などを把握しつつ、少しでも価値を高めて広葉樹を有効活用できるよう取り組んでいきます。

※伐採した立木を用途・需要に応じた長さに切断すること


販売したサワグルミ
（宮古市山工業　早池峯山国有林より出材）

森と暮らしをつなぐ広葉樹材

岩手

盛岡森林管理署

当署では、森林の多面的機能（生物多様性保全、水源涵養、地球温暖化防止など）を維持・増進するための森林整備を実施しています。

森林整備は、主に人工林（スギ、カラマツなどの針葉樹）で行われるイメージが強いと思いますが、少量ながら整備区域内に生育する広葉樹を伐採することもあります。また、利用段階にある森林では、伐採後に丸太として販売を行っています。

これまで当署では、広葉樹材をバイオマス発電用の燃料や製紙原材料として供給してきました。しかし近年は、国際情勢の変化や国内での伐採量の減少などを背景に、家具や内装材などへの利用として国産広葉樹材の人気が高まっています。

そのため、令和７年11月20日、盛岡木材流通センター主催の木材市において、当署で生産したクリ、ブナ、ミズナラなどの優良な広葉樹材115本（約24㎥）を出品しました。その結果、入札者が９者に達した物件もあり、広葉樹材の人気の高さが改めて示されました。

今後も、地域の森林資源を最大限に活かしながら、健全な森林の育成と資源の循環利用を進め、持続可能な森林管理と木材利用の促進に努めていきます。

間伐で選別したトチノキ（長い材は5.4m）
（帯石貯蔵庫　笠抜山国有林より出材）

地域発NEWS

（病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組）

各（支）署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をしたりしています。

ナラ枯れ被害対策の取組

青森

下北森林管理署

当署の管内である青森県下北半島地域において令和６年度に初めてカシノナガキクイムシ（カシナガ）によるナラ枯れ被害が確認されたことを受け、処理方法や防除作業について認識を共有することを目的とした現地検討会を５月30日に実施しました。

実施にあたり、青森県森林組合連合会より講師を招き、県・市町村・事業体を対象として、ナラ枯れの仕組みや被害木の特徴等を学びました。

また、実際に被害木を伐採し、カシノナガキクイムシが樹木に侵入する位置やフラス（木くずや排泄物が混ざったもの）の状況確認を行い、伐倒くん蒸を行う際の留意点や、立ち木への薬剤注入方法について解説していただきました。

参加者からは、「伐根に切れ目を入れる理由」や「くん蒸シートの縁に土をかぶせる理由」などの質問があり、関心をもって作業を目にしていることがうかがえました。

今後は、さらなる被害の拡大を防ぐため、青森県や市町村と連携し、日常の林野巡視や被害木への迅速な処理など防除に努めて行きます。

薬剤散布作業（くん蒸処理）

ニホンジカから造林地を守る

宮城

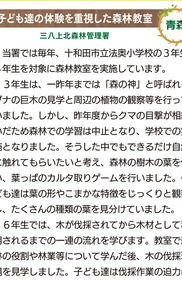
宮城北部森林管理署

近年、東北地方でニホンジカの分布域が拡大し問題となっており、当署管内においても、石巻市、女川町、登米市、気仙沼市にニホンジカが多数生息しています。ニホンジカは造林木の葉や樹皮を摂食し、成長阻害や枯死、木材価値の低下を引き起こします。このようなニホンジカによる森林被害を防ぐためには、苗木の植栽・保育と併せてニホンジカ被害対策を行うことが重要です。

当署では、今年度、ニホンジカから造林地を守るために、造林木にシカ食害対策用（ニホンジカが嫌う匂いや味覚刺激を利用した薬剤）を散布しました。また、ニホンジカの生息密度が特に高い造林地では、ニホンジカによる食害を物理的に防ぐために、植栽後すぐに苗木を保護管（高さ1.7mのポリエチレン製チューブ）で囲い込み、１本ずつ保護しました。

さらに、当署では、石巻市、女川町を構成団体とする牡鹿半島ニホンジカ対策協議会や登米市とニホンジカ被害対策協定を締結し、イノシシなどの無償貸与を行うことによって、市町が実施する捕獲事業の支援も行っています。

今後も、健全な森林を守り育てていくために、ニホンジカ被害対策を推進していきます。



苗木の植栽と同時に設置した保護管

地域発NEWS

（ふれあい・管理・総務等の取組）

各（支）署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

子ども達の体験を重視した森林教室

青森

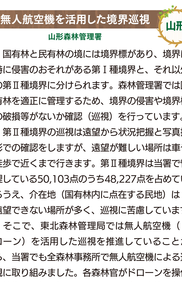
三八上北森林管理署

当署では毎年、十和田市立法奥小学校の３年生、６年生を対象に森林教室を実施しています。

３年生は、一昨年までは「森の神」と呼ばれるブナの巨木の見学と周辺の植物の観察等を行っていました。しかし、昨年度からクマの目撃が相継いだため森林での学習は中止となり、学校での実施となりました。そうした中でもできるだけ自然に触れてもらいたいと考え、森林の樹木の葉を使い、葉っぱのカルタ取りゲームを行いました。子ども達は葉の形やこまかな特徴をじっくりと観察し、たくさんの種類の葉を見分けていました。

６年生では、木が伐採されてから木材として利用されるまでの一連の流れを学びます。教室で森林の役割や林業等について学んだ後、木の伐採現場を見学しました。子ども達は伐採作業の迫力に圧倒されながらも、気になったことを積極的に質問していました。製材工場では丸太が板や角材に加工されていく過程を見学しました。工務店の展示住宅では、場所に応じて様々な種類の木材が使い分けられている様子を見学した後、かんながけを体験し木の香りやぬくもりを実感しました。

今後も子ども達の体験を重視した森林教室になるよう取り組んでいきたいと思います。



チェンソーでの伐採作業を見学

無人航空機を活用した境界巡視

山形

山形森林管理署

国有林と民有林の境には境界標があり、境界は特に侵害のおそれがある第Ⅰ種境界と、それ以外の第Ⅱ種境界に分けられます。森林管理署では国有林を適正に管理するため、境界の侵害や境界標の破損等がないか確認（巡視）を行っています。

第Ⅱ種境界の巡視は遠望から状況把握と写真撮影での確認をしますが、遠望が難しい場所は車や徒歩で近くまで行きます。第Ⅱ種境界は当署で管理している50,103点のうち48,227点を占めているうえ、介在地（国有林内に点在する民地）は遠望できない場所が多く、巡視に苦慮しています。

そこで、東北森林管理局では無人航空機（ドローン）を活用した巡視を推進していることから、当署でも全森林事務所で無人航空機による巡視に取り組みました。各森林官がドローンを操作し技術の習得に努めるとともに、意見交換を行いました。

結果、ドローンを活用することで効率的な巡視が可能であり、労力の軽減を図れることから効果的であると感じました。また、巡視以外にも森林整備における各種事業の状況把握にドローンが寄与すると考えられることから、今後も積極的に活用を図ってまいります。

ドローンで巡視を行う森林官

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

青森県東津軽郡蓬田村

青森森林管理署

人　口 2,372人（R7.11.30現在）　**面　積** 80.84㎢
市町村の木 クロマツ　**市町村の花** ハマナス

青森県の津軽半島東部に位置する蓬田村は、陸奥湾に面した穏やかな海と背後に広がる里山に囲まれた自然豊かな村です。漁業と農業が暮らしの基盤となり、四季折々の恵みとともに人と自然が調和した暮らしが今も息づいています。

青森県蓬田村では、日中の寒暖差と雄大な自然の恩恵を活かし、特産品の絶品トマトたちを育てています。よもぎたトマト四姉妹の「津軽の雫（桃太郎）・北の雅・サマーセレブ・よもぎたbabybaby」は、いずれも夏から秋にかけての収穫時期に、真っ赤になるまで丁寧に育てられた生産量・流通量の少ない貴重品で、贈答品としても高い人気を誇ります。

特産品の「よもぎたトマト四姉妹」

津軽の雫の品種は人気の高い桃太郎。全国で栽培されていますが、旬である夏に収穫できるのはここ青森だけ。また、サマーセレブは青森の農場以外ではどこにも流通していないイタリア原産のトマトです。

よもぎた物産館「マルシェよもぎた」

物産館「マルシェよもぎた」では、これらのトマトがところ狭しと並べられ、多くの来店者の目を引いています。このほか、蓬田村のふるさと納税返礼品「とまったれセット」は、原料に蓬田産完熟トマト100%を贅沢に使用しており、無添加・無着色の自然な甘みが特色です。

ふるさと納税返礼品「とまったれセット」

この物産館の西側の小高い台地にある「玉松台」は、太い枝が輪状になっている樹齢300年以上の「玉松」がある松の木に囲まれた約２ヘクタールの緑地公園で、ここからの陸奥湾の眺めは絶景です。現在は公園内にある「古城の沼」の整備も進み、松風の聞こえる静かな憩いの場となっています。

古城の沼

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
蓬田村産業振興課　Tel. 0174-27-2115

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形県西置賜郡白鷹町

置賜森林管理署

人　口　12,033人（R7.11.30現在）
面　積　157.71㎢
市町村の木　エドヒガンザクラ　**市町村の花**　こぶし

白鷹町は、山形県南部置賜盆地の北部に位置し、ほぼ正方形に近い形をしています。町の中央部を南から北へ貫流する最上川をはさみ、西は朝日連峰、東は白鷹丘陵に向けて盆地が形成されています。

白鷹町には樹齢500年以上のエドヒガンザクラが６本あり、その桜の古木を「古典桜」と名付けました。

春爛漫の白鷹町は「古典桜の里」と呼ばれ、毎年多くの人々が町内にあるエドヒガンザクラの古木を訪れています。これらは「種まきザクラ」とも呼ばれ、地域の生活と密接にかかわってきました。

樹齢約1,200年のエドヒガンザクラ（薬師桜）

着物の紅花染め、化粧道具としての紅、女性の節目を彩ってきた紅。山形県では15世紀半ばより紅花の栽培が始まり、最上川舟運の発展も相まって、各流域には産地が形成。そのひとつが、白鷹町でした。

日本の「紅」を守るため、そして紅花の持つ可能性を高めるため、品質保持と生産拡大に取り組んでいます。こうして守り伝えられてきた紅花は、農林水産省より「日本農業遺産」へ、文化庁より「日本遺産」への認定を受けています。

日本の紅（あか）をつくる町

最上川にかかる「ヤナ」は、川底の落差によって水流が早まるところに足場を組み、木や竹で編んだ「簾」をかけて魚を獲るために作られた大掛かりな野堤で、最盛期には、ヤナにかかる落ち鮎（紅葉鮎）の様子を見ることができ、運が良ければヤナにかかる魚を手づかみすることもできます。

ヤナでの落ち鮎漁（紅葉鮎）

昔、各集落に頼まれたときや祝いの席で腕をふるう“隠れ蕎麦打ちの名人”がいました。やがて独自の思いを持った蕎麦屋が次々と開店、どの店もレベルが高いと評判で、いつしか「隠れ蕎麦屋の里」と呼ばれるようになりました。

自宅開放型の「隠れ蕎麦屋」が各地域に点在

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
白鷹町商工観光課　Tel. 0238-85-6126

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

木とともに成長中です！！

岩手

盛岡広域森林組合
森林事業課　野田　彩也香さん

私が森林に魅了されたきっかけは、小学生のときに参加したスギの枝打ち体験学習でした。森林が持つ機能に衝撃を受け、地元の森林を守りたいと思い、当時お世話になった当組合にご縁をいただき、令和６年に入組しました。

担当業務の中でも、ドローン等を活用した森林の調査と作業の進捗状況の確認はとても楽しく、ドローンを操作して見る山の景色は得難いものがあります。現在は最先端技術を駆使した材積調査・面積測量の省力化に向けて試行錯誤中です。

また、盛岡市や盛岡市動物公園ZOOMOなどと連携して里山林の整備や木をつかい育てることの大切さを伝える取り組みを行っています。私は伐採見学ツアーのガイドを行い、子供たちにも森林に魅了されてほしいという思いで活動をしています。

そのほかに、いわて林業アカデミーと岩手県林業労働対策基金の支援を受けながら、若手の林業従事者の確保・育成にも取り組んでいます。研修を通して技量も人としても成長し、現場で活躍する姿を見ると、とてもやりがいを感じます。

四季折々の山の景色、山の恵み、オノオレカンバなどの珍しい樹種、特徴のある木目をもつ木材に出会えるのが日々の楽しみです。私たちと一緒に森林を守り、育てていきませんか？

伐採見学ツアーガイドの様子

漆の里、浄法寺で学ぶ地域とのつながり

岩手

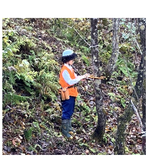
岩手北部森林管理署　浄法寺森林事務所
森林官　大桃　早貴さん

私が働く浄法寺森林事務所は、岩手県最北の二戸市浄法寺町に位置し、国有林面積約4,300haを管轄しています。

浄法寺町は、日本の漆文化を支える浄法寺漆の中心的な地域となっており、この生産量は全国の約8割を占めています。

町には漆器の工房やお店、漆器を使った飲食店があり、掻き終えたウルシの木も垣根に再利用されるなど、漆は地域の生活に深く根付いています。

森林官の業務は、各種事業の監督や林道の点検、樹木調査など多岐にわたりますが、当地域ならではのものとして、ウルシに関わる業務があり、「ウルシ林造成適地」の情報提供と、分収造林契約を通した漆の安定供給にも取り組んでいます。



漆の木の調査をする筆者

また、ここでは漆の植樹祭が毎年開催され、地元企業や小中学生、ボランティアなど200名を超える多くの方が参加しており、漆文化を未来へつなぐ大切な行事となっていることから、小中学生のサポート役として積極的に参加をしています。

このほか、プライベートでも、漆器を購入したり、浄法寺漆の歴史についての講演会や漆の実でろうそくづくり体験等の漆のイベントに参加したりと漆に魅せられています。

今年度は初めての森林官業務でしたが、日々地域の漆文化に触れ、関係者と交流を深めることができました。

今後も様々な行事に参加し、地域の方とのコミュニケーションを積極的に図りながら、地域に寄り添った山づくりを進めていきたいと思います。

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

青森県

開催中~2/23(月) ビジターセンターであそぼう!

クイズラリーやクラフト体験、スノーシューレンタルなど子どもから大人まで楽しめる企画を実施します

主催 十和田ビジターセンター

2/14(土) かんじき歩き&虹チョコ

藤琴川沿いの平坦な雪原で木製和かんじきを体験&構造色で虹色に見えるチョコをつくります!

主催 白神山地世界遺産センター

2/14(土)~15(日) 白神山地ビジターセンターふれあいデー

特別臨時上映、クイズラリー、木育広場など、親子で楽しめる体験がもりだくさん!

主催 白神山地ビジターセンター

3/1(日) 梵珠山アニマルトラッキング

葉を落とした木々の中で動物たちの痕跡を観察しながら登山します

主催 青森県立自然ふれあいセンター

秋田県

開催中~3/22(日) 林業研究研修センター紹介展

研究機関の概要及び日々取り組んでいる内容・研究成果をパネルで展示紹介します

主催 秋田県立農業科学館

2/28(土) 第3回鳥海山セミナー

熊の生態についての学びを深めます(講師:写真家 加藤明見氏)

主催 鳥海山の会

3/8(日) 雪ん子体験

そり遊びをしたり、エアーボードを体験したりして秋田の冬を楽しみます

主催 秋田県立保呂羽山少年自然の家

岩手県

2/7(土),8(日),14(土),15(日),21(土),22(日),28(土),3/1(日) 網張の森雪上ハイキング

真っ白く雪化粧した網張の森を、ガイドと一緒にスノーシューハイク。雪原に残る動物の足跡や、森の奥にたたずむマザーツリーにも会えるかも

主催 網張ビジターセンター

2/15(日) 冬の植物の観察会

講師と一緒に、主に冬芽の観察を通して、冬の樹木を楽しみながら滝沢森林公園内を歩く人気講座です

主催 岩手県滝沢森林公園・門崎県営の森ネイチャーセンター

2/15(日) もりおかハンター座談会

盛岡猟友会の先輩ハンターを講師に、狩猟のやり方や猟友会の活動について学べる座談会を開催します

主催 盛岡市

2/21(土),3/8(日),15(日) 夏油高原スノーシューハイキング

雪との新しいふれあい、非日常の雪山体験を、そして気軽に美しい夏油の雪景色を鑑賞しながらスノーハイキングが楽しめます

主催 夏油高原インタープリターの会

宮城県

2/14(土) 蔵王に登ろう!山ガール教室

蔵王の登山をとおして、自然の美しさや登山の楽しさを味わいましょう!

主催 宮城県蔵王自然の家

3/7(土) 宮戸島ウォーク

宮戸島各地区に残る歴史ある生活道を歩きながら、新宮戸八景を含む観光名所を巡ります

主催 宮城県松島自然の家

山形県

2/15(日)~3/7(土) スノーシューイベント

雪の上を、ウサギやキツネみたいに縦横無尽に歩きましょう

主催 月山ビジターセンター

2/22(日) 源流の森第130回森林の学校

雪中宝探し、かんじきトレッキング、雪板すべり、動物の足あと探しなど、冬の遊びを楽しみます

主催 山形県 源流の森

2/28(土) 2025森の案内人養成講座 冬の講座

県民参加の森づくり活動や自然環境教育への取り組みを推進するため、活動等を指導できる人材の育成を行います

主催 山形県

日帰りプラン 3/8(日) / 泊2日プラン 3/7(土)~8(日) いいでの雪と遊ぶ!裏朴沼林「雪沼林スノーシューツアー」

雪に覆われた白川湖をスノーシューで歩く、冬にしかできない特別体験。遊んで、食べて、自然にふれる── 思い出づくりにぴったりのツアーです

主催 山形県飯豊少年自然の家

3/21(土) 竜馬山登山

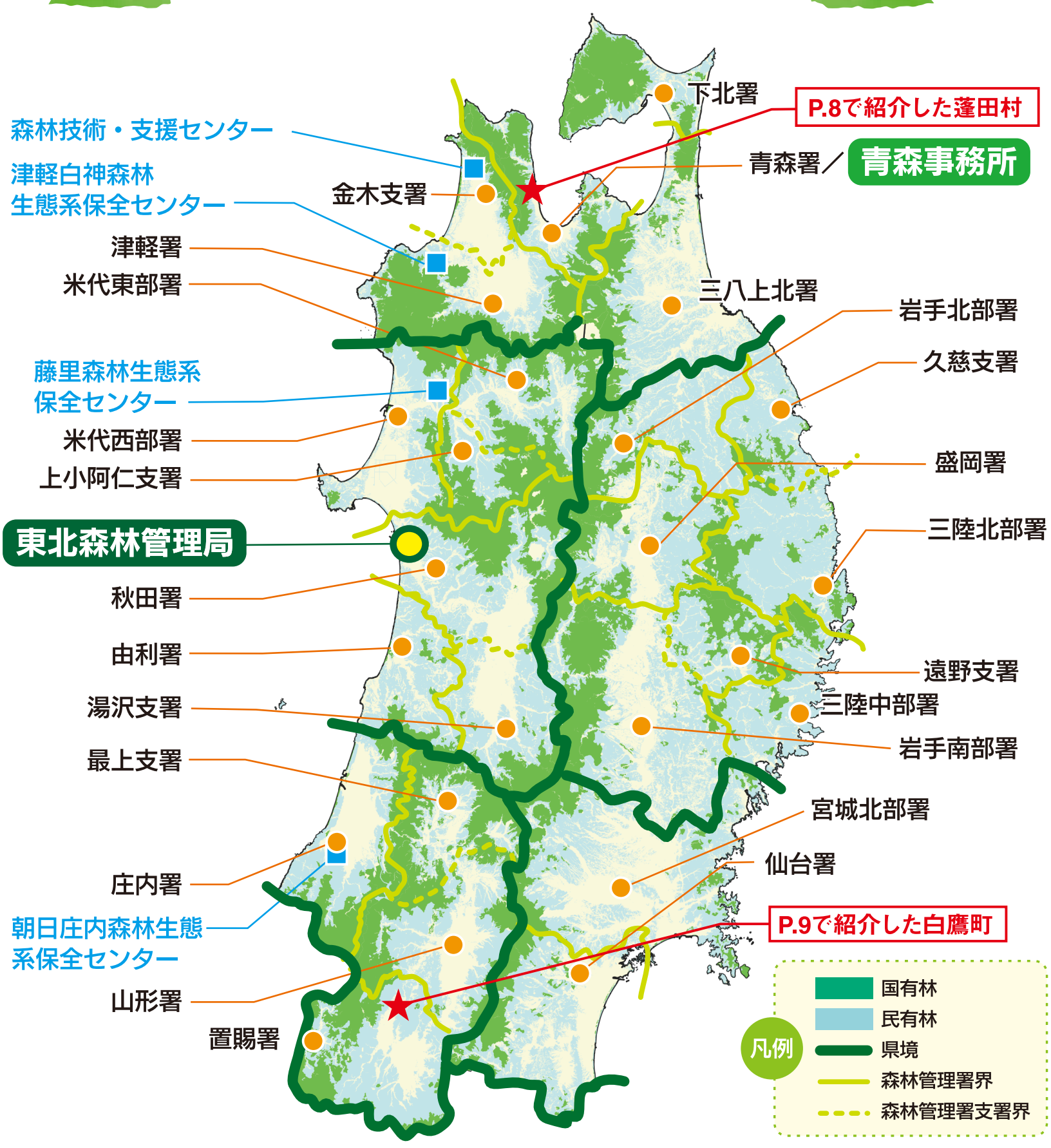
竜馬山の物語に耳を傾けながら、早春の竜馬山に和かんじきで登ります(おにぎり程度付)

主催 山形県遊学の森

※掲載内容は、天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますのご、ご了承下さい。

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓

東北森林管理局マップ



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841

東北森林管理局

〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

みどりの東北 Midori no Tohoku

No.263

●発行日／令和８年２月

●発行／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/

表紙写真

樹氷の成長はいくつもの気象条件が整った場所でのみ見ることができる実は珍しい現象です。その姿から「スノーモンスター」や「アイスモンスター」とも呼ばれ怪獣のように自然の力強さを見た人の心に印象づけてくれます。